

令和6年度
産業建設委員会
行政視察報告書

- 1 期 日
令和6年5月13日（月）～5月16日（木）
- 2 視察先及び調査事項
北海道旭川市
・企業誘致・立地の推進について
北海道石狩市
・道の駅石狩「あいろ一ど厚田」について
北海道函館市（公立はこだて未来大学）
・マリンIT及びスマート水産業の取組について
- 3 出張者
委員長 井 上 浩 二 副委員長 佐々木 充
委 員 高 橋 淑 子 委 員 川 又 由美恵
委 員 高 橋 章 哲 委 員 行 元 博
委 員 楠 學
随行職員 細 川 由貴絵

5月13日（月）

特 定 調 査 事 項

北海道旭川市

- 企業誘致・立地の推進について
 - 1 基本施策について
 - 2 旭川市マッチング型企業誘致業務について
 - (1) 業務の概要について
 - (2) 業務の実績及び効果について
 - 3 旭川市IT・デザイン関連企業進出支援補助金について
 - (1) 補助金の概要について
 - (2) 補助金の実績及び効果について
 - 4 現在の課題及び今後の取組について

北海道旭川市

R6.5.13(月)



5月14日（火）

特 定 調 査 事 項

北海道石狩市

○ 道の駅石狩「あいろ一ど厚田」について

- 1 建設の背景・経緯について
- 2 施設の概要について
- 3 施設の運営について
- 4 入込客数について
- 5 現在の課題及び今後の取組について

北海道石狩市

R6. 5. 14 (火)



道の駅石狩「あいろーど厚田」について



道の駅石狩「あいろど厚田」

平成30年4月27日 オープン（現在6年目）

延べ入込客数 2, 142, 761人（R6.3月末時点）

運営 株式会社あい風（社員4名）

特徴 日本海に面した3階建て
エレベーターやエスカレーターなど、体に不自由な
方も行き来しやすい造り



設備について

敷地面積 24,472 m²

駐車場 大型車4台、普通車147台、身障者3台
EV充電施設 1台

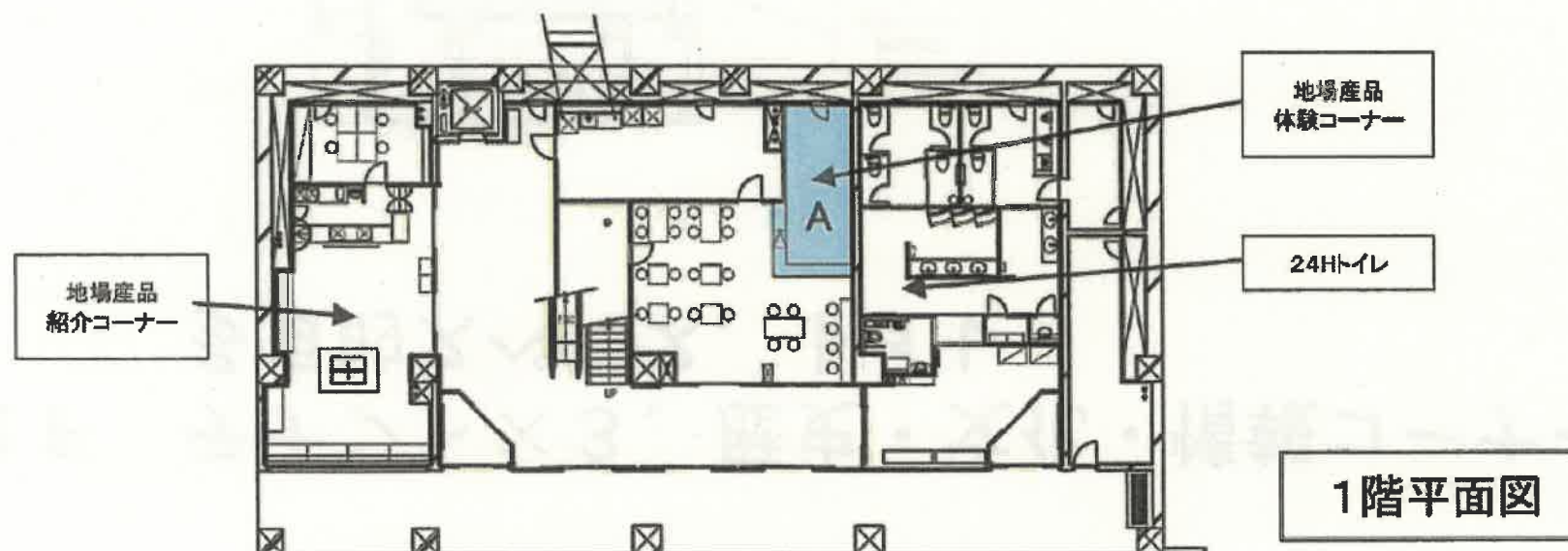
トイレ 男性：小7器、大4器
女性：8器
多目的：2器

うち24時間トイレ

男性：小3器、大2器
女性：4器
多目的：1器

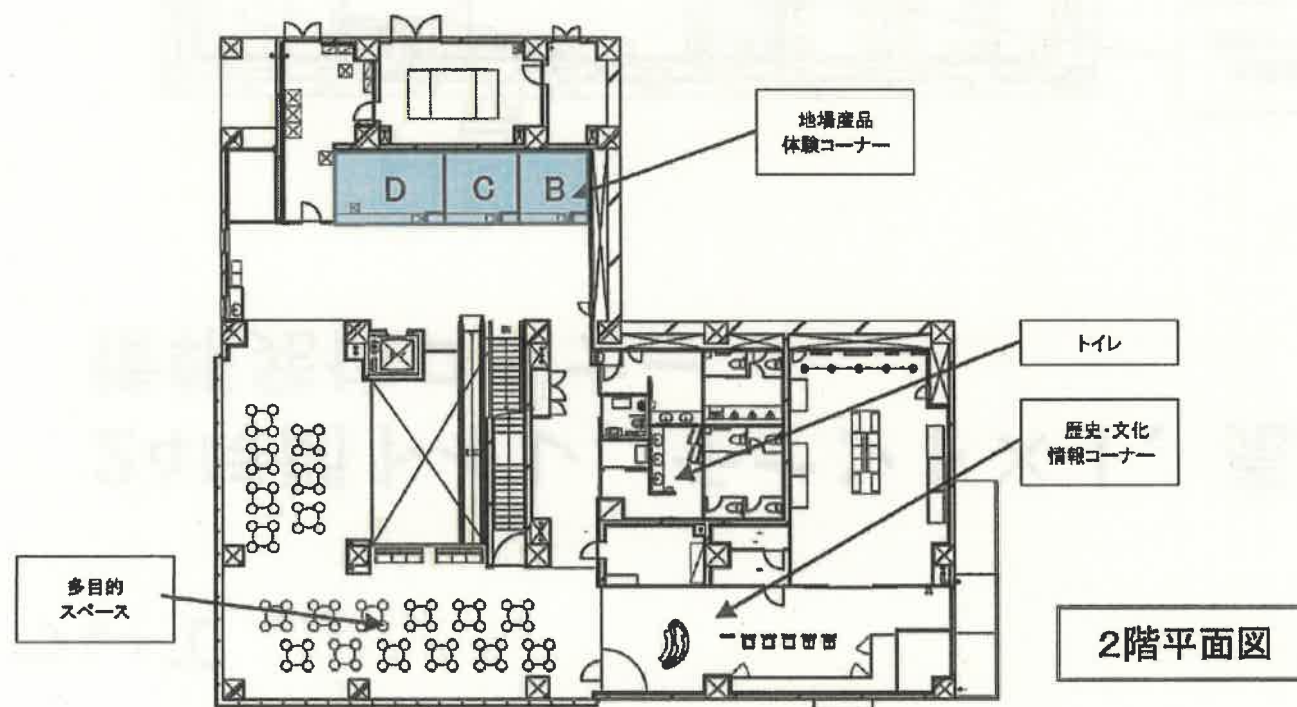
設備について

1 F 24時間トイレ、テナント×1、売店、 情報発信コーナー



設備について

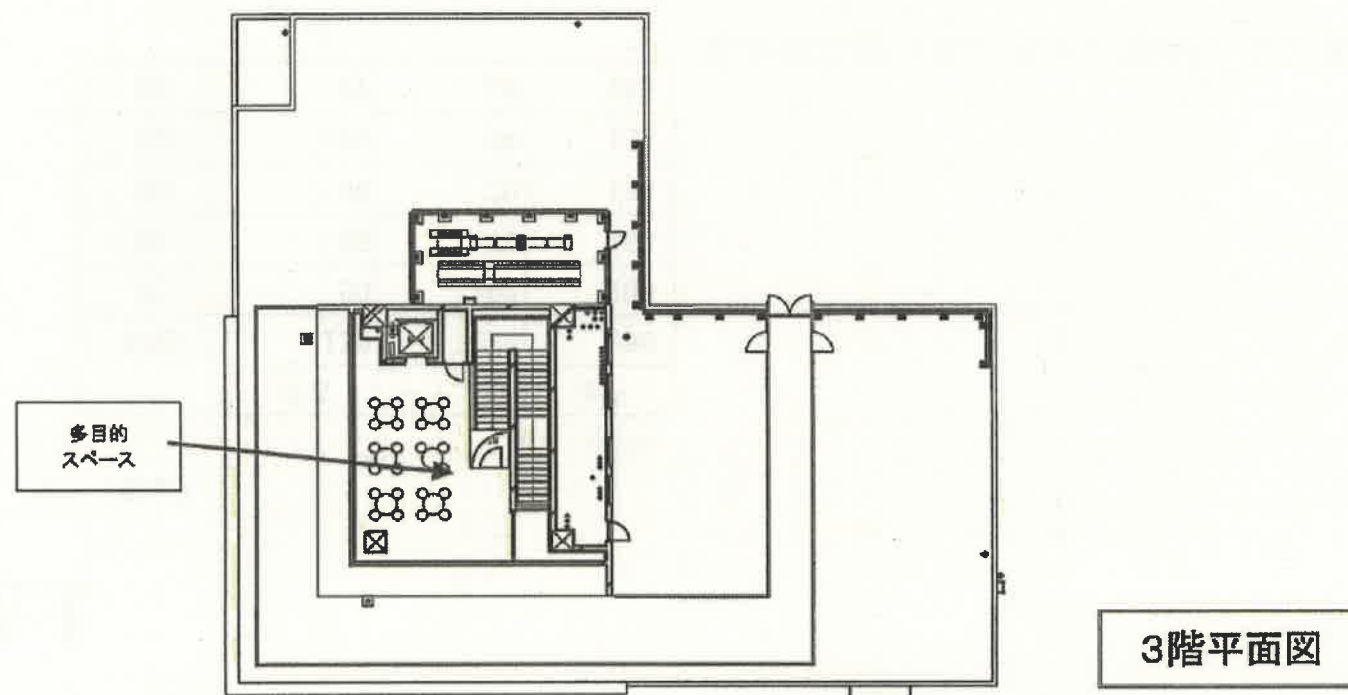
2F テナント×3、歴史・文化・情報コーナー、多目的スペース、トイレ



設備について

3 F 多目的（地域交流）スペース、屋外テラス

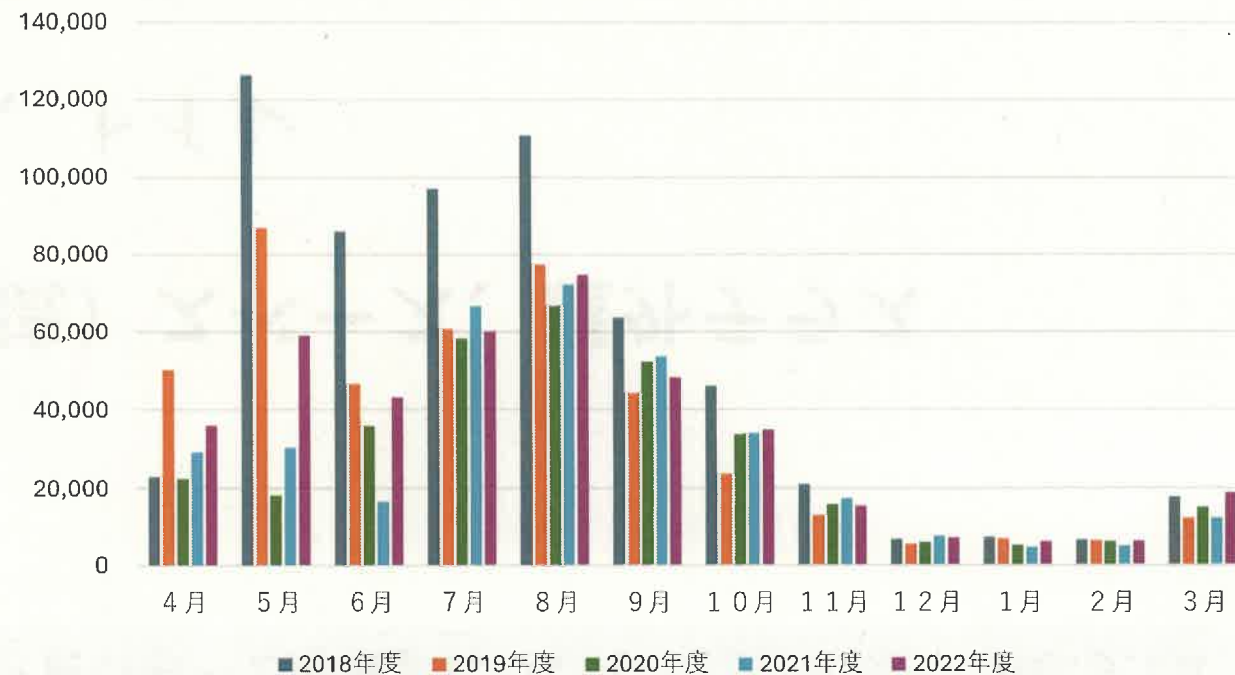
※別館 テナント×1、トイレ



入込客数、売上

[入込客数]		[売上]			
	(単位：人)				(単位：百万円)
	入込客数		売店	テナント	合計
H30	612,702	H30	130	129	259
R1	434,090	R1	99	107	206
R2	335,801	R2	86	71	157
R3	350,070	R3	90	70	160
R4	410,098	R4	101	84	185
R5	407,718	R5	97	88	185

道の駅石狩「あいろーど厚田」入込客数推移



建設の背景

- ・平成17年
石狩市×厚田村×浜益村 合併！！

- ・厚田地域協議会

地域課題の解決

地域資源を活用した振興策

地域課題

- ・ 地域産業の衰退
- ・ コミュニティ活動の担い手不足
- ・ 地域生活サービスの衰退

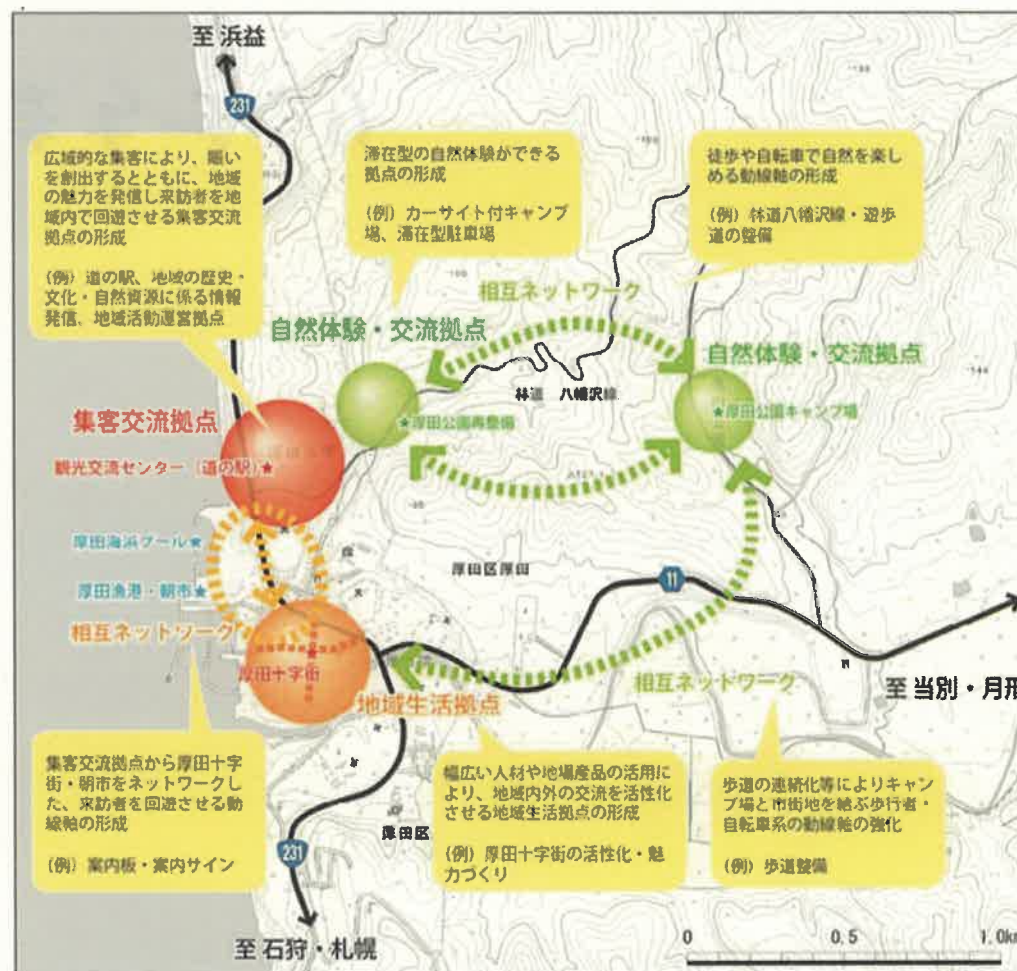
地域課題の解決に向けて

基本的な考え方

- ・ 住民自治の推進
- ・ 賑わいの形成
- ・ 自慢できる（誇れる）まちづくり

地域とのかかわりと必要な拠点機能

- ・ 集客交流拠点
- ・ 地域生活拠点
- ・ 自然体験交流拠点



集客交流拠点

- ①道の駅の整備
- ②地場産品の販売・飲食サービスの提供
- ③情報発信機能の強化
- ④地域の歴史・文化・自然資源に係る情報発信
- ⑤地域との交流機能の強化
- ⑥地域交通拠点の整備

地域とのかかわりと必要な拠点機能

平成27年1月

「重点道の駅」選定

道の駅のコンセプト

近説遠来

地域内の人々が喜んで暮らしていると、自ずと地域外からも多くの人々が訪れ、賑わい、活気あるまちになる

(孔子)



道の駅5種年記念イベント

R5.4.29 キックオフイベント

R5.6.24,25 石狩マルシェ第1弾「望来豚」

R5.7.22,23 石狩マルシェ第2弾「海」

R5.8.26,27 石狩マルシェ第3弾「野菜」

R5.10.7-9 感謝祭

R5.11.7 地域交流会

R5.4.29 キックオフイベント

入込客数 3,467人（前年3,226人）



R5.6.24,25 石狩マルシェ第1弾「望来豚」

入込客数 8,469人（前年6,904人）



R5.7.22,23 石狩マルシェ第2弾「海」

入込客数 8,568人（前年4,469人）



R5.8.26,27 石狩マルシェ第3弾「野菜」

入込客数 4,741人（前年5,326人）



R5.10/7-9 感謝祭

入込客数 10,214人（前年7,614人）



R5.11.7 地域交流会

入込客数 80人



参考：あいろーどパーク

- ・自然交流施設（旧スキー場）
- ・キャンプ場（現在リニューアル工事中）

参考：いしかりデジタルマップ（R4）

- ・ デジタルポイントラリー（R5、6）
- ・ 縦型ショート動画制作（R6）

ISHIKARI DIGITAL MAP



5月15日（水）

特 定 調 査 事 項

北海道函館市

○ マリンIT及びスマート水産業の取組について

- 1 取組に至った経緯について
- 2 取組の概要について
- 3 産学官民の連携について
- 4 取組の効果及び課題について
- 5 今後の取組について

北海道函館市（公立はこだて未来大学）

R6. 5. 15（水）



マリンITの取り組み



2024年5月15日 (水)
公立はこだて未来大学 和田 雅 昭

●和田雅昭（わだまさあき）

- ✓公立はこだて未来大学 教授
- ✓総務省 地域情報化アドバイザー（農林水産業）
- ✓水産庁 スマート水産業現場実装委員会委員
- ✓デジタル庁 デジタル推進委員



●経歴

- ✓北海道大学水産学部（博士（水産科学））
- ✓株式会社東和電機製作所（機械化による水産業支援）
- ✓公立はこだて未来大学（情報化による水産業支援）



うみのアメダス（海水温観測ネットワーク）

全国の沿岸を対象とした海水温観測ブイを開発



漁業者が抱える課題

地球温暖化に起因する海水温の上昇により、漁業では漁場形成が変化し、養殖業では斃死が発生し、定置網漁業では魚種が変化し、環境への順応に迫られていた。

海洋環境の可視化

- 海水温観測ブイの導入
- 多点多層観測の実施
- リアルタイム配信



ICT利活用の効果

- 海水温の状態が数値とグラフで可視化された
- 勘と経験の強化（補正と検証）が図られた
- 効率的、かつ、計画的な生産が可能となった

社会実装の方法

ブイメーカーによる製品化

うみのレントゲン（水産資源管理システム）

北海道のマナマコを対象とした資源評価手法を開発

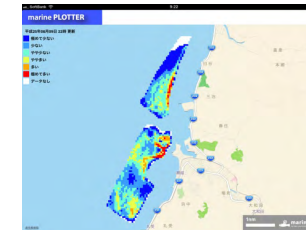


漁業者が抱える課題

中国市場の開拓に成功した北海道産のマナマコは価格が急騰し、漁業者の漁獲意欲が向上したことから乱獲状態となり、資源量が減少、枯渇の危機に面していた。

水産資源の可視化

- iPadの導入
- 漁獲情報の共有
- 位置情報の共有



ICT利活用の効果

- 資源の状態がマップとグラフで可視化された
- 漁業者主体の資源管理が実現した
- 効率的な技術継承（後継者育成）が可能となった

社会実装の方法

ITベンダによるサービス化

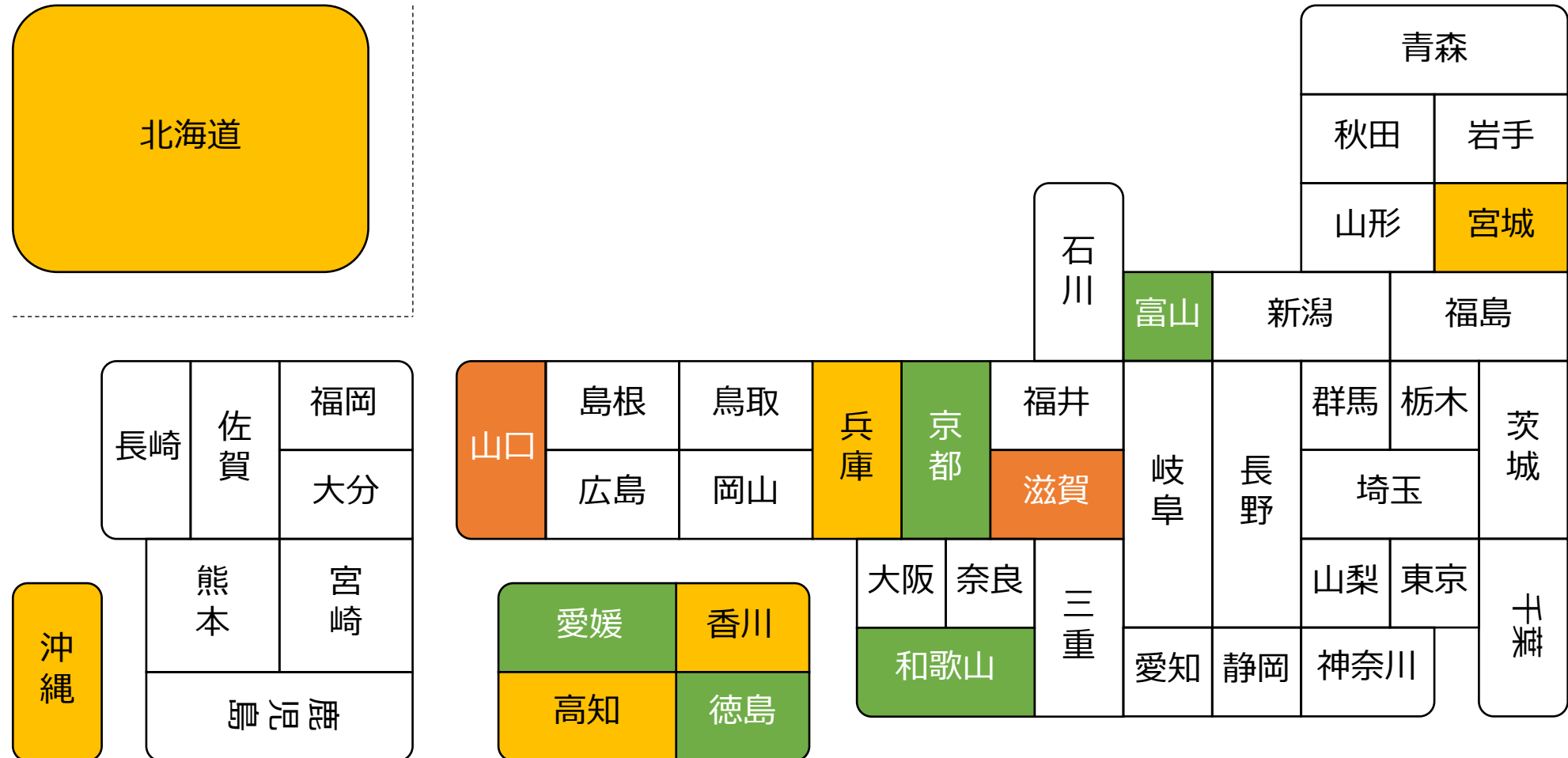
ICT、IoT 等の先端技術の活用により、

- 水産資源の持続的利用
 - 水産業の産業としての持続的成長
- の両立を実現する次世代の水産業

1. スマート水産業情報システム構築推進事業
2. スマート水産業普及推進事業
3. 水産流通適正化制度における電子化推進事業

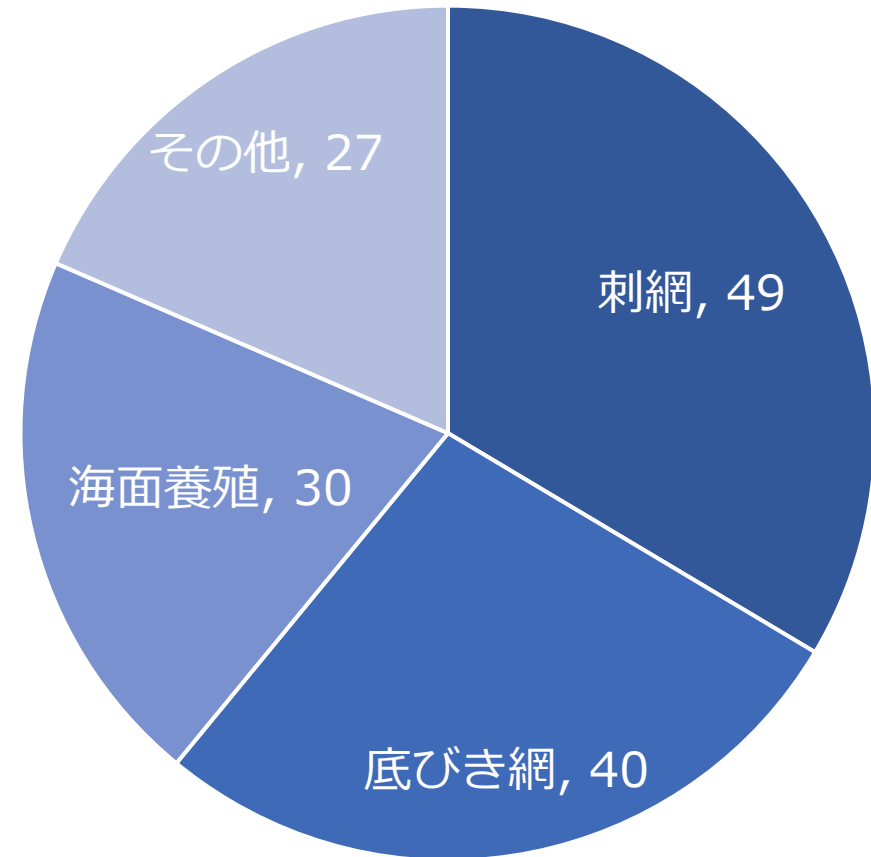


都道府県の動き 2023年度



西条市の漁業 魚種別漁獲量と経営体数

魚種	漁獲量
えび類	114 トン
かに類	70 トン
さわら類	64 トン
いか類	58 トン
たい類	38 トン
ひらめ・かれい類	29 トン
すずき類	21 トン
貝類	13 トン
たこ類	13 トン
その他	19 トン



底びき網 なまこけた網



先端技術の活用



水産試験場による資源評価

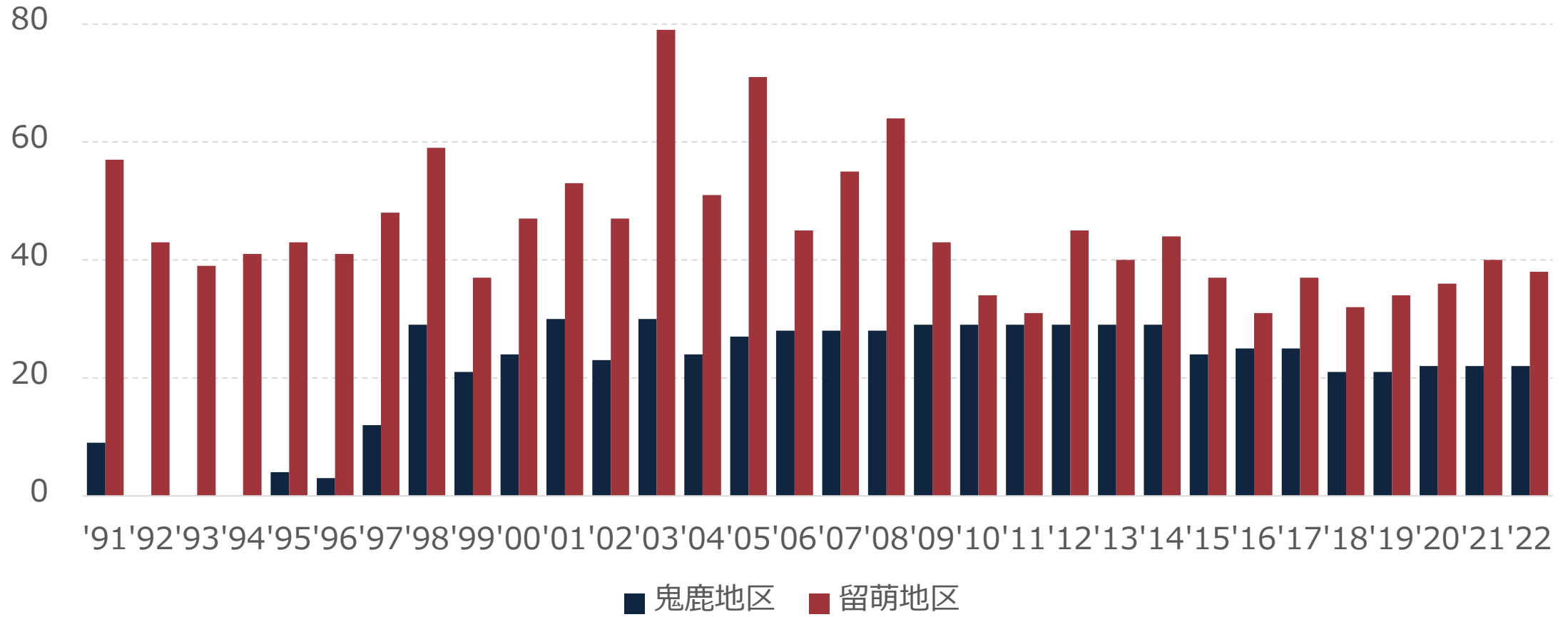


診断項目		H27	H26	H25	単位	推奨	意味
漁獲規制 サイズ以 上の 資源状況	CPUE	32.88	40.57	24.61	kg・曳 網 ⁻¹ ・日 ⁻¹		1曳網あたり漁獲量の平均値。
	初期密度（重量）	5.1	6.2	5.6	g/m ²	7.5 以上	漁期初めのマナマコの分布密度（重量）の 平均値。
	初期密度（個体数）				個 体/m ²		漁期初めのマナマコの分布密度（個体数） の平均値。
	初期資源量	76.95	83.5	93.27	トン	134 以上	漁期初めのマナマコ資源量。
	初期資源個体数				個体		漁期初めのマナマコ資源量（個体数）。
	資源水準指数	57	62	70	—	100 以上	資源水準の指標。60未満で低、60～140で 中、140以上で高。
	延べ漁獲量 （調査海域のみ）	9.55	29.19	35.38	トン		上記調査対象海域の漁獲量。
	延べ漁獲個体数 （調査海域のみ）				個体		マナマコ漁獲個体数。
	漁獲率	12.39	34.95	37.93	%		初期資源量に対する漁獲量の割合。
	昨年からの増加量	22.6	29.15	45.62	トン		初期資源量と前年の獲り残し資源量の差。

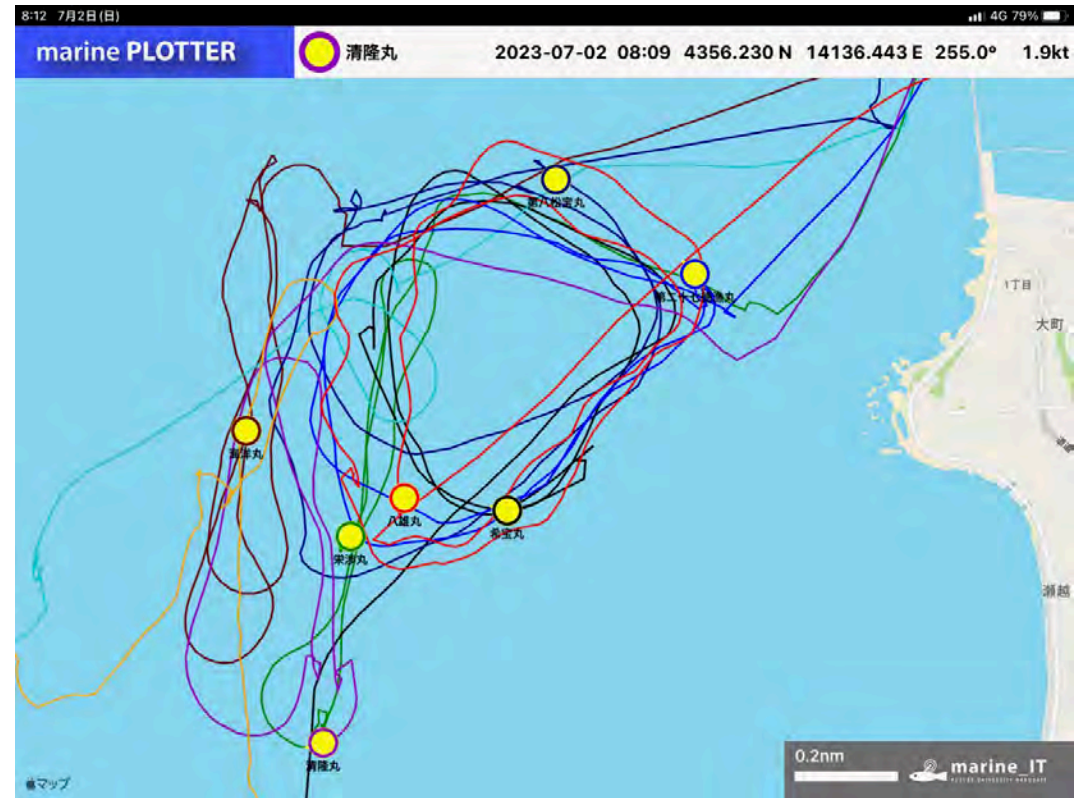
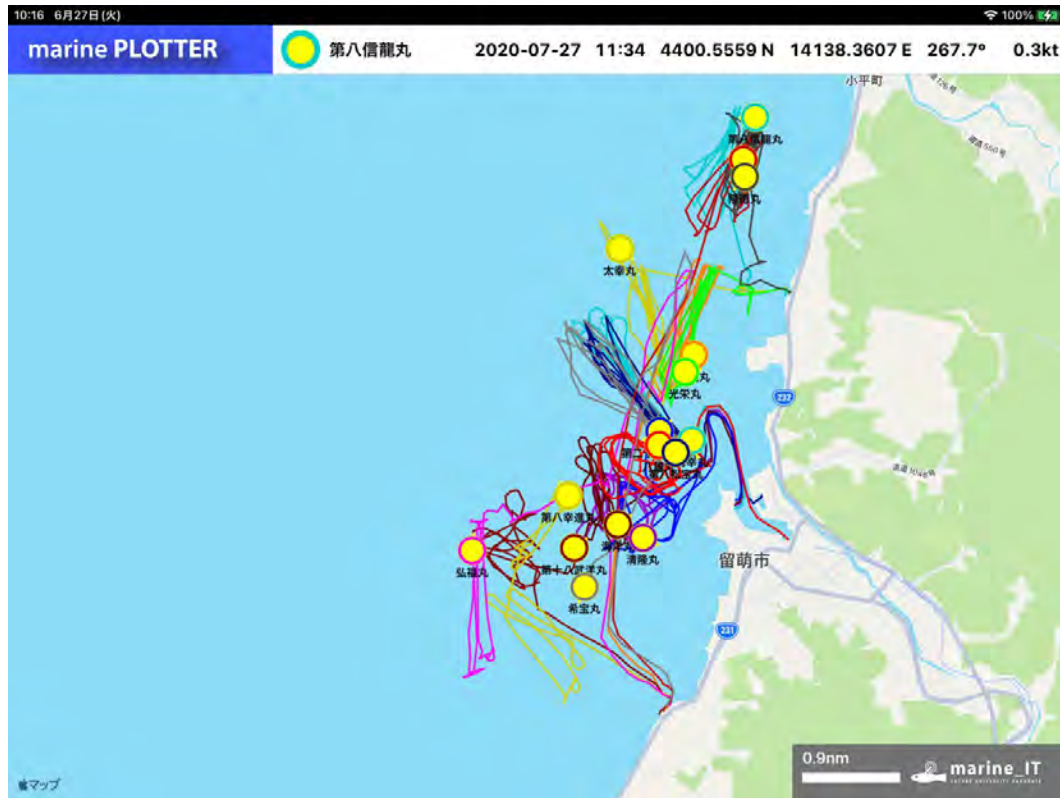
スマート水産業の成功事例



データ利用の一次的効果 資源利用の最適化



データ利用の二次的効果 技術継承の効率化



刺網 小糸網

小糸網（刺網）の技術継承

●目的

✓小糸網漁業の新規就業者に熟練漁業者の技術を継承したい。

●対象となる技術

✓どのように**漁場**を選ぶのか？

✓どのように**水深帯**を決めるのか？

●方法

✓網の位置と水深の見える化



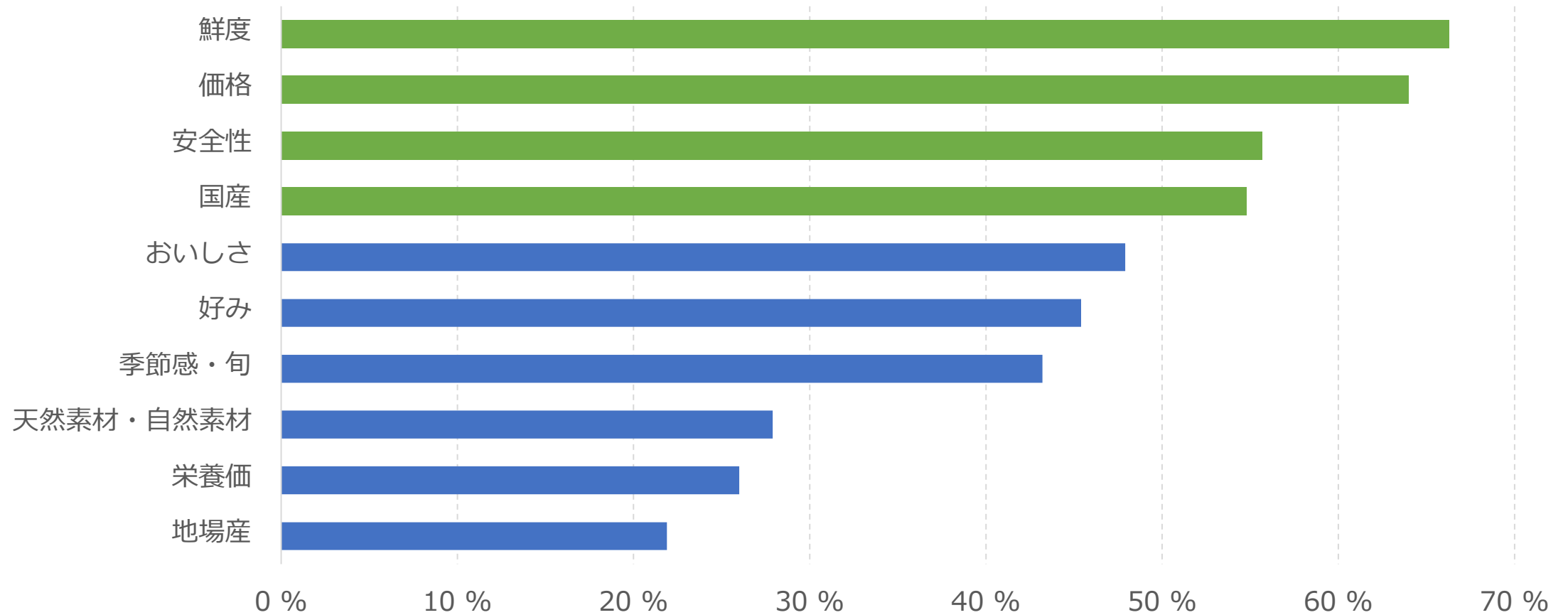
水産 G X



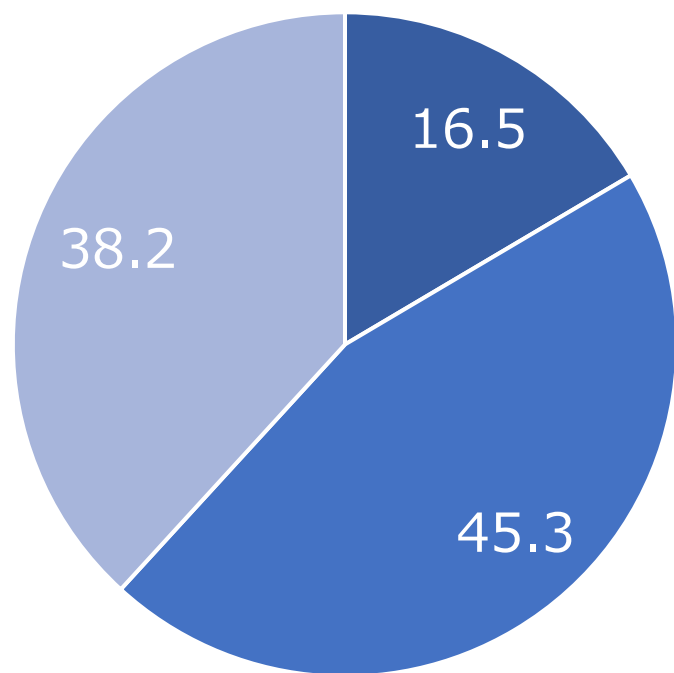
- GX実現に向けた基本方針 ※2023年2月10日閣議決定
農林水産業における脱炭素の「見える化」による消費者の行動変容、環境にやさしい農産物の供給拡大
- 北海道マリンビジョン ※2023年6月27日策定
北海道水産業の課題
 - (4) 循環型社会への対応とグリーン化の推進
 - (6) 水産業のデジタル化・スマート化



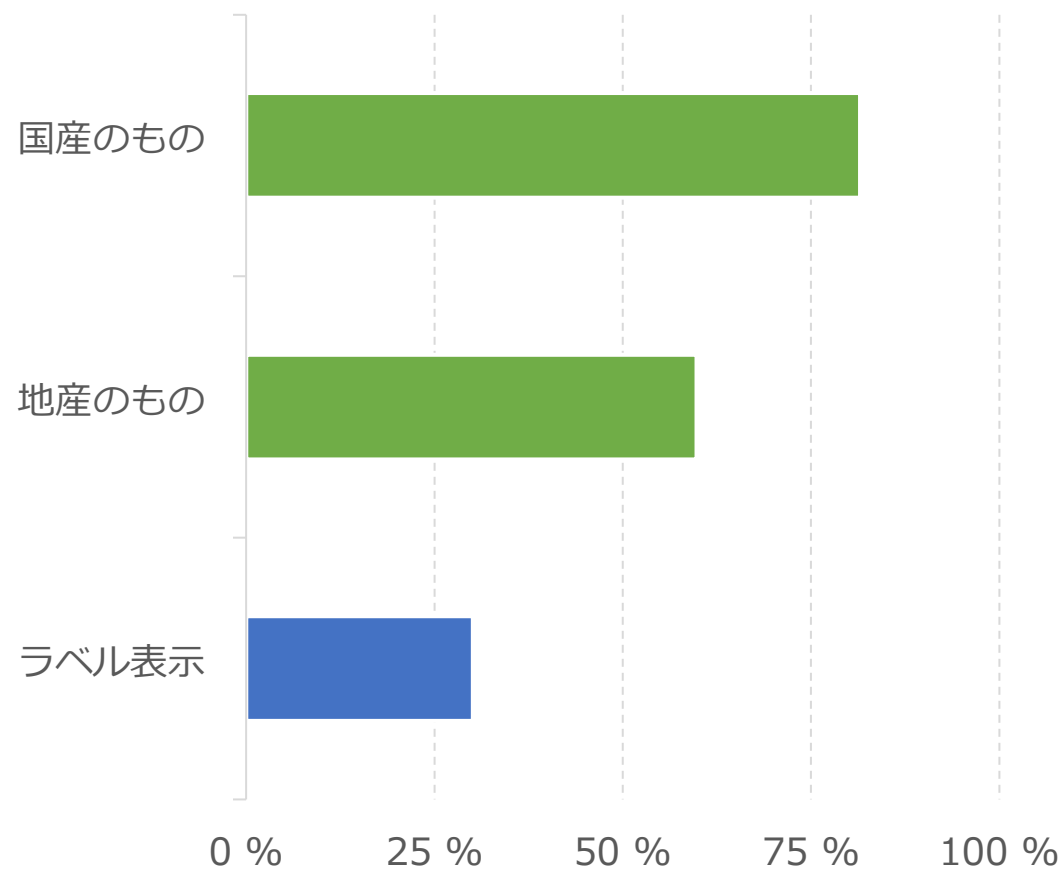
食品を選択する際に重視すること N=1,874



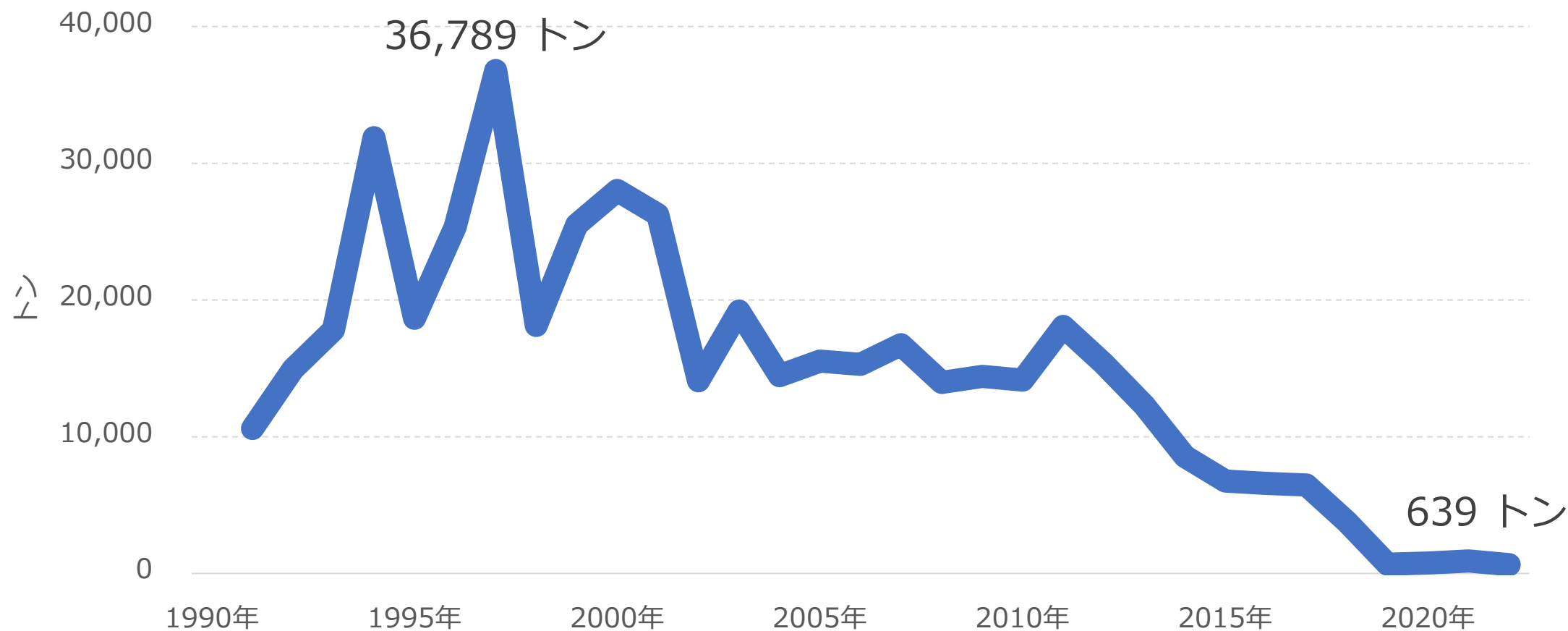
環境に配慮した食品を選んでいますか？



■ いつも選んでいる ■ ときどき選んでいる ■ その他



するめいかの漁獲量 函館市



●いか釣漁業

- ✓世界で最も自動化された漁法
- ✓高い漁獲選択性
- ✓遠洋・近海・沿岸いか釣に分類される

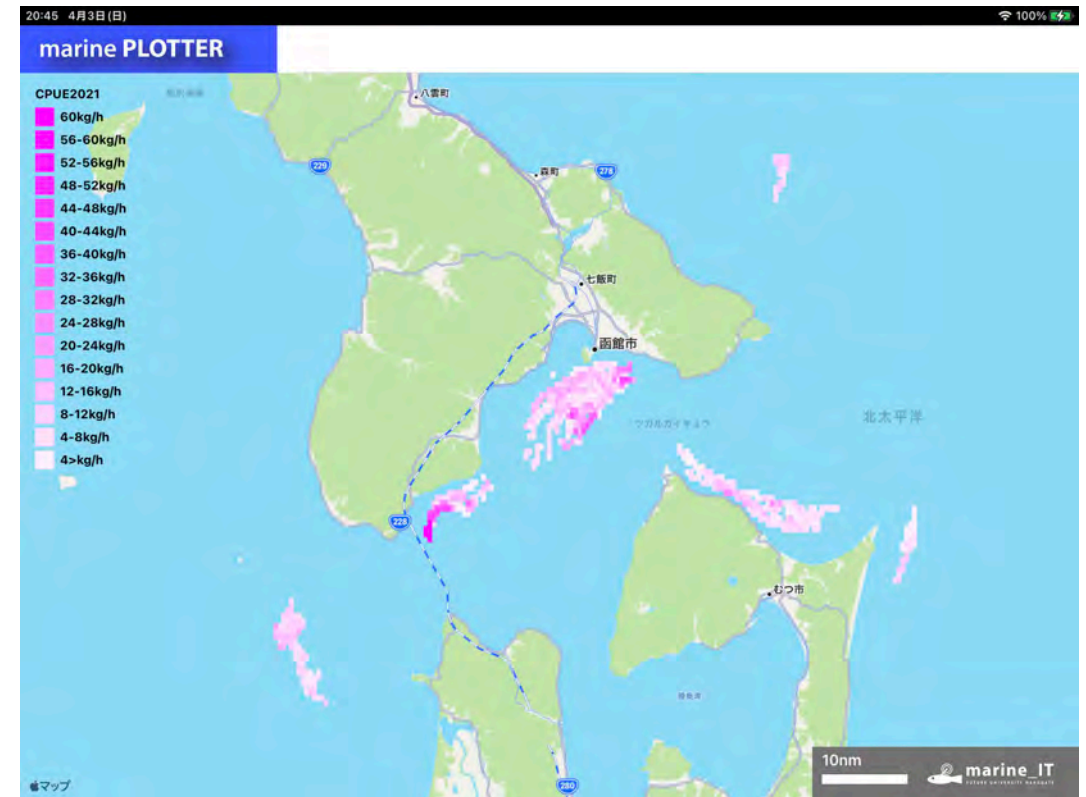
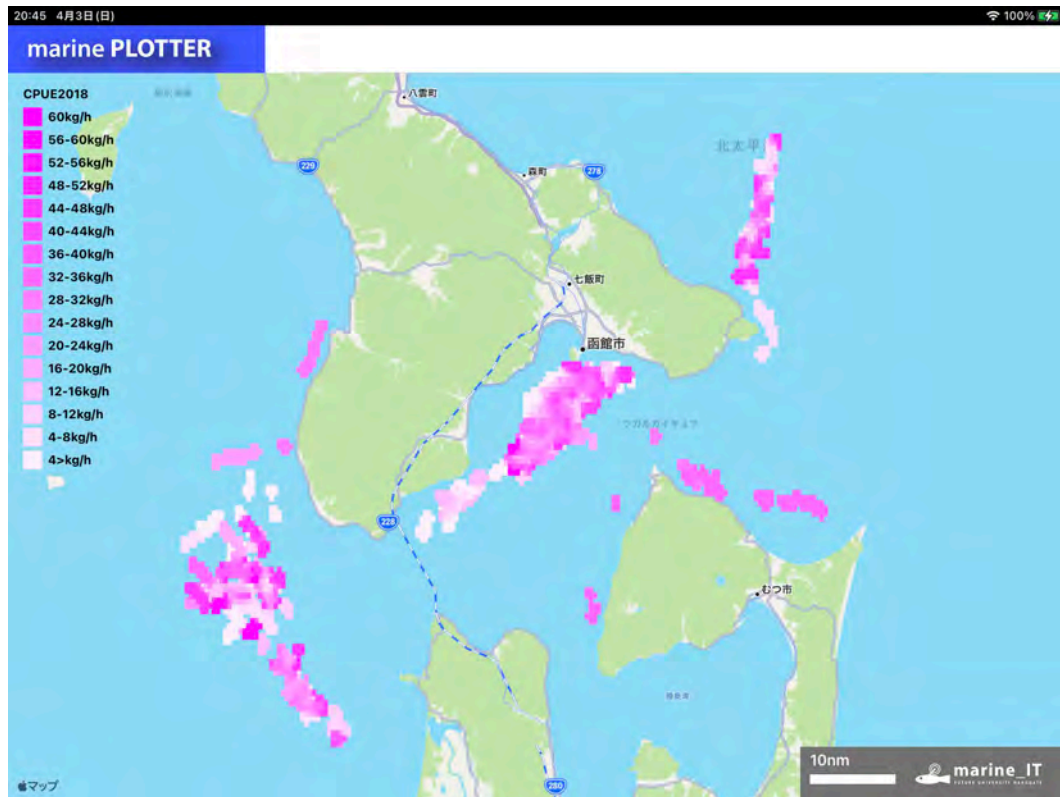


●温室効果ガスの排出

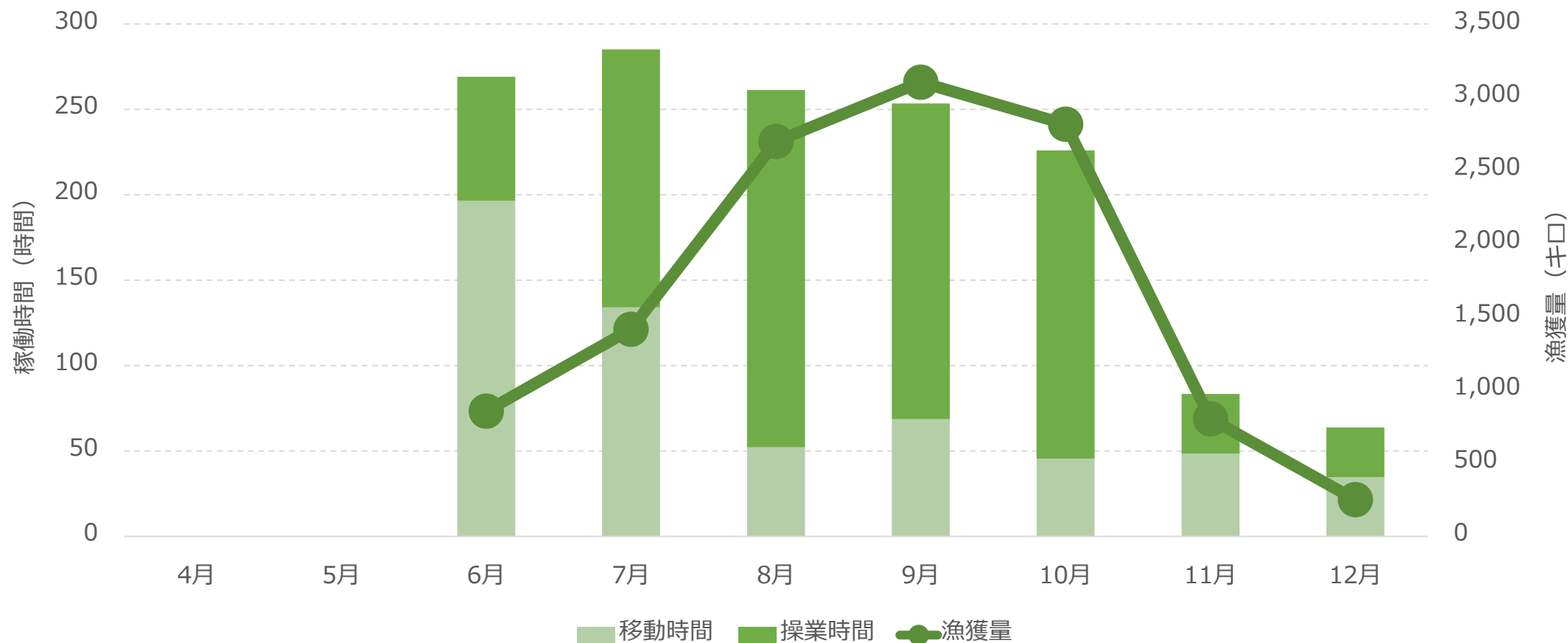
- ✓経営体数 5,827経営体
- ✓A重油の年間消費量 約180万本（ドラム缶）
- ✓FRP漁船の使用年数 30～40年



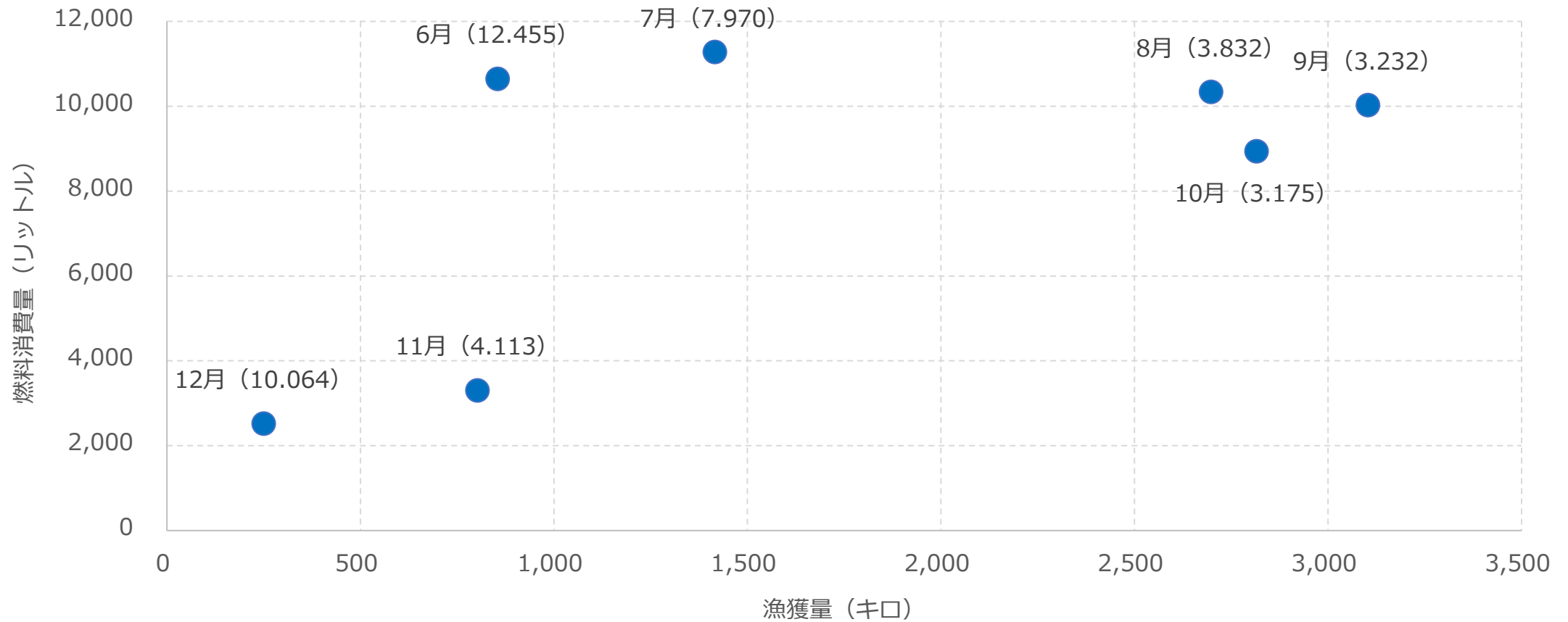
経年変化 2018年 vs 2021年



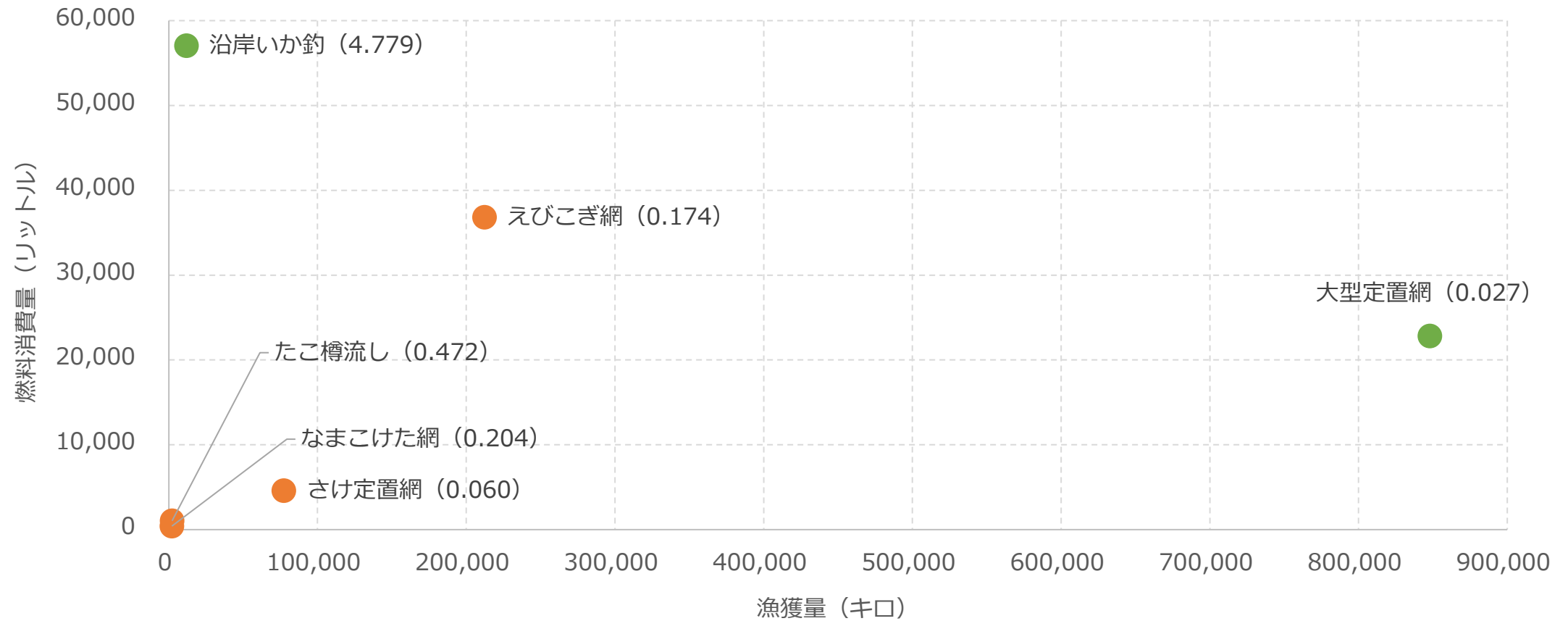
稼働時間と漁獲量 2021年



単位漁獲量あたりの燃料消費量 2021年



単位漁獲量あたりの燃料消費量 漁法別



●エシカル消費

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと

●SDGs

目標12

つくる責任 つかう責任

●脱炭素社会

カーボンニュートラル

